

第129回運営委員会概要 7月18日(木) 18:30~21:50

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
- ◆出席委員：新野・石坂・佐藤・高橋(武)・竹内・武本(和)・徳永運営委員  
(欠席：三宮)・・・7名 (敬称略、五十音順)
- ◆オブザーバー：規制庁/山崎防災対策専門官・一ノ宮原子力保安検査官  
エネ庁/橋場所長  
新潟県/荻原主査  
柏崎市/野澤主任  
東京電力/長野副所長・杉山課長・椎貝副長・中林副長
- ◆事務局：広報センター/須田業務執行理事 石黒主事

---

視点61号内容について(第120回定例会)

〈事務局〉前回の運営委員会で、内容を市民にわかりやすくなるように改善を加えていくということだった。10月発行の第62号から、質疑応答や意見要望などの部分に見出しをつけるなど、少しずつ見やすくなる工夫をしたい。

また、「みんなの広場」欄は投稿者が少ないことから削除し、図や表を使っての解説、用語の説明などを加えていきたいと考えるがどうか。

〈議長〉「みんなの広場」欄は休止としてそのスペースを有効活用することでどうだろうか。

(委員賛成)

- ・事務局案を委員で確認
- ・前回の質疑応答も一部加えてさらに細かな改善を行い校了

9月の福島視察について

〈事務局〉視察の出欠と視察行程についてアンケートを行った。  
結果は、福島第一・第二原子力発電所の両方を視察する案を希望する委員が多かった。

〈議長〉アンケート結果から、両方を視察する案を採用させてもらってよいだろうか。

(委員賛成)

〈議長〉また、発電所視察のほかに、地元の方の話を聞きたいという意見もある。

いわき市内に避難されている方との交流や様子などを聞くということができれば、1日目に盛り込んでどうか。

(委員賛成)

〈事務局〉 昨年の視察では、郡山市にある富岡町の仮設住宅内「おだがいさまセンター」へ伺ったが、その時は柏崎市から連絡を取っていただいたり、資料を送っていただいたりした。今年はどうのように進めたらよいか。

〈委員〉 やはり行政から連絡を取ってもらう方がいいのではないか。

〈委員〉 例えば個人的に知っている方を御呼びするにしても、行政を通して来ていただく方が良いと思う。

(委員賛成)

〈事務局〉 地元の方との交流や、話を聞くという部分については柏崎市と話をしながら進めていきたいと思う。

〈柏崎市〉 昨年の視察先である富岡町は柏崎市として別件で関わりがあったため、市が窓口となったが、今回のいわき市については関わりがない。昨年と違い難しい面がある。今日の話は一旦預らせていただきたい。

(委員了解)

#### 次回定例会内容について（8月、9月、10月）

〈議長〉 10月の定例会は視察後の感想の内容になると思われる。  
9月定例会の中で、視察の詳細や連絡などについて時間を割くことになる。

8月の定例会はどんなことをテーマにしたらよいだろうか。

〈委員〉 新規制基準もまだはっきりしていない、防災についてもまだ手をつけていない。

〈議長〉 防災については秋からしばらくやらなければいけないと思う。

〈委員〉 7月定例会から続いている新規制基準に対して、東京電力が行おうとしている6、7号機の適合審査申請について。地域の会で良い悪いと議論しても仕方ないのではないかと思う。それをどのような切り口でやるのか、どのように議論をすれば、その内容についての認識が深まるのか。

〈委員〉 お互いが意見を言い合うだけで質疑にならない。しかし触れないわけにもいかない。

〈東京電力〉 できれば、適合審査申請を行いたいとしている、新しい部分（地盤の問題、竜巻、火山など）の説明について20分ほど時間をいただきたい。

併せて市、村に事前了解のお願いをさせていただいたフ

フィルターベントの概要について 10 分ほど説明、質疑対応の時間をお願いしたい。

〈委員〉今までの東京電力の説明は、「福島は安定している、沈静化している」と言う説明だけだった。

しかし、この 1、2 ヶ月ではっきりしたのは除染をしても効果はない、地下水の汚染。地元に戻れると思っていた福島の人たちは帰れない。これでは福島事故は沈静化などしていない、東京電力の説明は一体何なのか、という思いを持つ。

柏崎刈羽発電所の新規規制基準申請の説明をする前に、今まで福島事故について沈静化していると言い続けてきた矛盾点や誤り、認識の違い、事実との乖離を釈明することが先ではないか。

毎月、東京電力から福島事故について「順調に対応している、沈静化している」と 2 年間聞かされてきたが、現実の問題がいろいろ出てきているのをみると、福島原発は本当のところどうなっているのかと思う。申請についての説明を聞く前に、そのことについて触れるべきではないかと思う。

〈議長〉オブザーバーとしては説明することしかできない。今話題になっていることについての説明は聞いておく必要はある。

前回からの説明や福島原発についての現状の報告内容について、意見を言ったり、除染について今までの矛盾点について質問したり、説明を求めたり、いくつか畳み掛けていければもう少し詳しく状況を知ることができるかもしれない。

「不信に思う」という意見や住民としてどう思っているかを質問や意見として、会議の中で表明していく。それがあまり多くなるようなら、今後そのことについて議題として時間を取って深く議論してもよいと思う。そのようなやりとりをしていくことが地域の会としての役割につながるのではないか。

〈委員〉地下水汚染のことについては、次回定例会の「前回からの動き」の中で丁寧にふれてほしい。

除染のことについては、環境省の担当で規制庁からは説明できないと前回定例会で聞いた。

しかし、住民にとってはとても大切な問題なので諸般の報告に入れてほしい。また、そのことについて議論できる時間と環境を考えてもらいたい。

〈議長〉次回定例会では、今の意見を酌みとっていただき、地下水汚染についての説明と、新規規制基準に対する申請内容についての説明、フィルターベントについての説明を約 20 分でしていただき、質疑応答という形でどうか。

(委員賛成)

(東京電力了解)

〈議長〉除染についてはどうするか。

〈委員〉実際にどのような状況かという説明がどこからもなされていない。担当の方に来ていただいて詳しい説明を聞きたい。

〈議長〉除染については、議論の幅が深く広くある。説明を聞いた  
り、質問、議論をできる時間を考えていきたい。

(委員了解)

## 10周年事業について

〈事務局〉記録誌作成について。

編集委員を川口委員、前田委員にお願いし、了承をいただいた。

今後、編集委員を中心に、編集方針などについて話し合いをしながら進めていきたい。

発行目標予定は、11月の公開勉強会に配布を考えている。

仕立ては、所々カラーページを交え、36ページ程度、500～1,000部程度と考えている。進捗について、随時、運営委員会や定例会で報告したい。

公開勉強会について。

11月6日に、通常の定例会および公開勉強会の形で、産業文化会館大ホールでの開催を考えている。

〈議長〉公開勉強会は、10周年ということで地域の会に関わる様々な立場の方たちの相互理解を図ることが目標になるのではないかと思う。

今まで地域の会を続けてきて、意思確認の難しさというものを感じている。

難しい技術論ではなく、コミュニケーションに特化した内容、更に言うとは技術に関することにも対応しながら、市民からの意見にも応えながら平坦な議論ができるような方2、3名においでいただき、会の運営に関することや発言の仕方など、新たな運営の方向性を考えていけるような勉強会にしてはどうかと考えている。

〈委員〉会を運営する上で、わかりやすく伝える手法というのは考えた方がいいと思うが、テーマとしては防災も関心のあることだと思う。

しかし、10周年の記念イベントということを考えればリスクコミュニケーションをテーマにするのがよいと思う。

〈委員〉今、我々に何が必要か、賛成も反対もなくして実質的に必要

であることを考えれば、やはり防災をテーマにすべきではないか。

〈議長〉リスクコミュニケーションという考え方を、一般の方にも知ってほしいということもある。それを知ることによって防災についてもより深く考えていくことにつながるのではないか。

〈委員〉多くの人に来ていただく、みんなが興味のあることをやるという意味では、民間事故調の方に来ていただくのもよいと思う。

〈議長〉多くの方に来ていただくためにタイトルを工夫したり、何人かの講師の中に民間の方を迎えたりということも考えていきたい。

委員だけがわかる勉強会ではなく、住民の方も一緒になって認識を変えていくことを考えていかなければ、この会がやっていることは伝わらないし、意義も見出せない。

〈委員〉一般の方には難しいのではないか。

〈議長〉二部式にしても良いと思う。例えば、リスクコミュニケーションなど学術的なことを行ったあとに、関心の高い防災についてとりあげる。その方が住民にはわかりやすくなるかも知れない。

内容や講師のことについては、時間を別にとってもう一度話し合いを行いたい。

(委員賛成)

## その他

〈議長〉新潟工科大、原子力耐震・構造研究センターから、地域の会に対して、「地震・津波に対する原子力施設周辺地域を考慮した防災システム (TIPEEZ)」のデモンストレーション参加の依頼があった。

日にちを2～3日設定するので、その中から1回は、委員の皆さんから参加していただきたい。

まずは、次回運営委員会が8月20日(火)午後6時半から始まるので、同日の午後4時から5時半として、事務局から先方へ連絡を取っていただきたい。

残りの日については、土曜日か日曜日に設定することとして事務局に調整していただき、各委員さんへ連絡、出欠確認をお願いしたい。

(事務局・委員了解)

**【決定事項】**

〈8月定例会タイムスケジュール〉(案)

- 18:30～19:15 前回定例会以降の動き  
(東京電力・規制庁・エネ庁・県市村)
- 19:15～20:00 質疑応答
- 20:00～20:20 新規制基準の考え方(規制庁)、質疑応答
- 20:20～20:40 新規制基準申請に対応する考え方及びベ  
ント設備について(東京電力)
- 20:40～21:15 質疑応答、その他

**次回以降日程について**

- 第122回定例会 8月7日(水) 18:30～21:15
- 第130回運営委員会 8月20日(火) 18:30～21:00
- TIPEEZ(ティピース)デモンストレーション  
8月20日(火) 16:00～17:30(予定)